

本年4月1日より、林伸一校長の後任として着任しました松本でございます。学校協議会の委員の皆様におかれましては、平素より、本校の教育に対し多大なご支援をいただき感謝いたしております。千里高校は、「時代を先駆けるパイロット校」としての歩みを止めることなく、国際・科学高校として、教育活動を革新し続け、生徒・保護者の皆さんには「本校で学んでよかった」と思っただけの学校であり続けたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、後ほど、各担当の方から、詳細につきまして、ご報告させていただきますが、私の方からは、概略をお話させていただきます。

まず、進学実績につきましては、国公立大学へ現役で75名(昨年度75名)、現浪併せて118名(122名)が合格しました。入学希望者の多い関西の私立大学について、合格者数が昨年度をさらに上回りました。

また、昨年度、国から5年間にわたる研究指定を受けた「スーパー・グローバル・ハイスクール(SGH)」は、今年が2年目でございます。国際文化科において、高い社会貢献意識、国際的課題についての深い理解、コミュニケーション力としての英語力、そして、国際的課題について他者と連携・協調しながら探究することができるマネジメント力を向上させるための指導法の開発に取り組んでいます。多彩な機関と連携しながら、様々な国内研修や国連本部のあるニューヨークでの研修、企業研修を今年度も、実施してまいります。

また昨年度、大阪府から3年間の指定を受けました「骨太の英語力養成事業」も今年2年目を迎えました。英語の4技能(読む、聞く、話す、書く)を、英語圏の大学で修学できるレベルに引き上げるため、スーパーイングリッシュティーチャー(SET)を中心に、TOEFL i b tを取り入れた授業を実践しております。

一方、平成22年度から5年間実施してまいりました国指定のスーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)は、平成26年度で終了となりました。終了後2回、再申請に向け計画書を提出いたしましたが、残念ながら、採択には至っておりません。しかし、その間に培ってまいりました指導法や関係機関との連携を活かして、総合科学科における「科学探究」を軸として、生徒たちが自主的にテーマを決め、調べ、発表する。これからますます求められる学びの力を、育成してまいります。

千里高校は、今年、創立50周年を迎えます。50周年を契機に、後援会・PTA・同窓会の皆さまとともに取り組む記念事業等を通じ、本校と関係の皆様や地域の皆様とのつながりがさらに深まるよう、何より生徒たちの千里高校生としての誇りと自覚、帰属意識がさらに深まるよう、進めてまいります。

この4月に50期生320名が、入学してまいりました。この50期生を含め、何より、生徒が主役の学校をめざし、まず生徒が心身共に、安全安心に学べ、その力を十分に伸ばせる学校にしていきたいと思っております。そして、その活動を、校長として、あらゆる機会に紹介してまいりたいと思っております。

あらためまして、学校協議会の皆様方には、本校の取組みにつきまして、ご意見やご助言をいただきますようお願い申し上げます、私のご挨拶とさせていただきます。